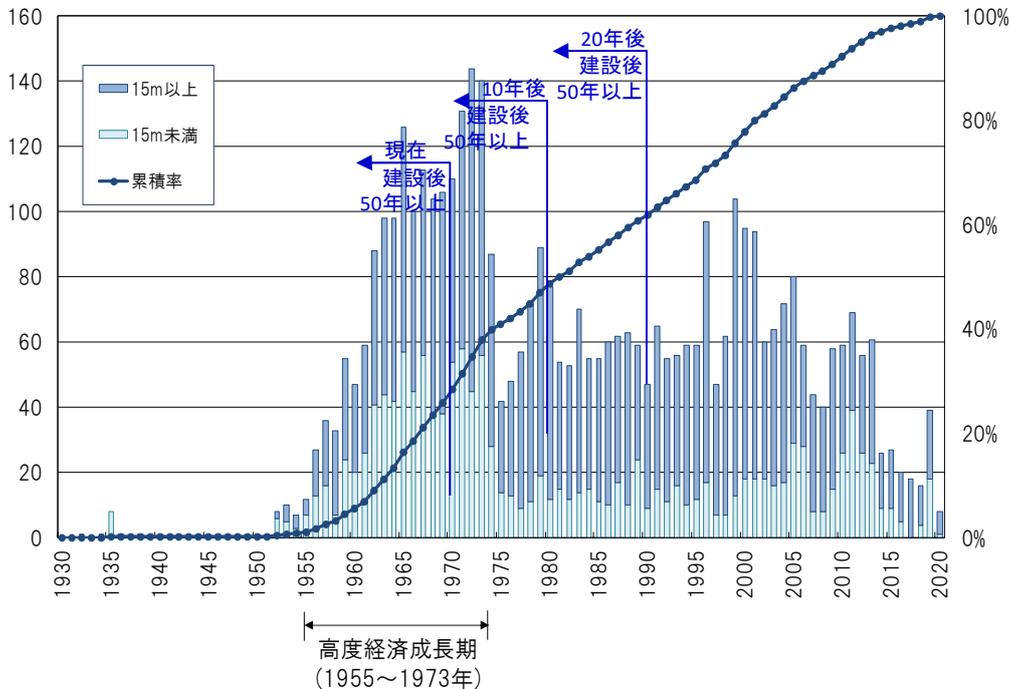




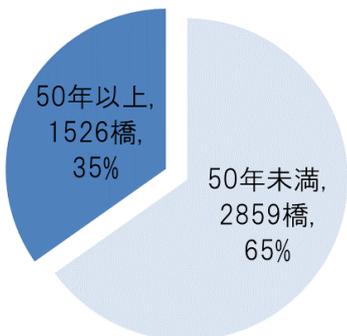
橋梁老朽化の現状【国管理】

- 北海道開発局が管理する道路橋は、令和3年3月31日現在、4,385橋（橋長＝2m以上）であり、全体の約4割が高度経済成長期（1955年～1973年）に建設されています。今後これら橋梁の高齢化が一斉に進むことから、適切な時期での補修・架替えが必要となることが想定されます。
- 北海道開発局における建設後50年以上を経過した橋梁箇所数の占める割合は、現在の35%から20年後には65%にまで急激に増加します。

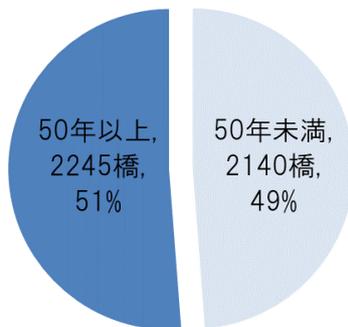
架設年次別の橋梁箇所数分布



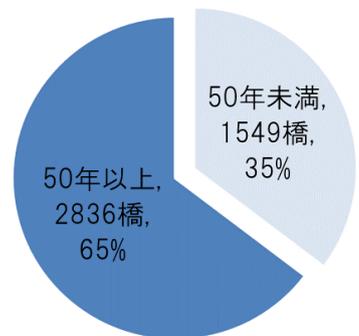
経過年数別橋梁数(橋長2m以上)



2021年
【現在1526橋】



2031年
【10年後2245橋】



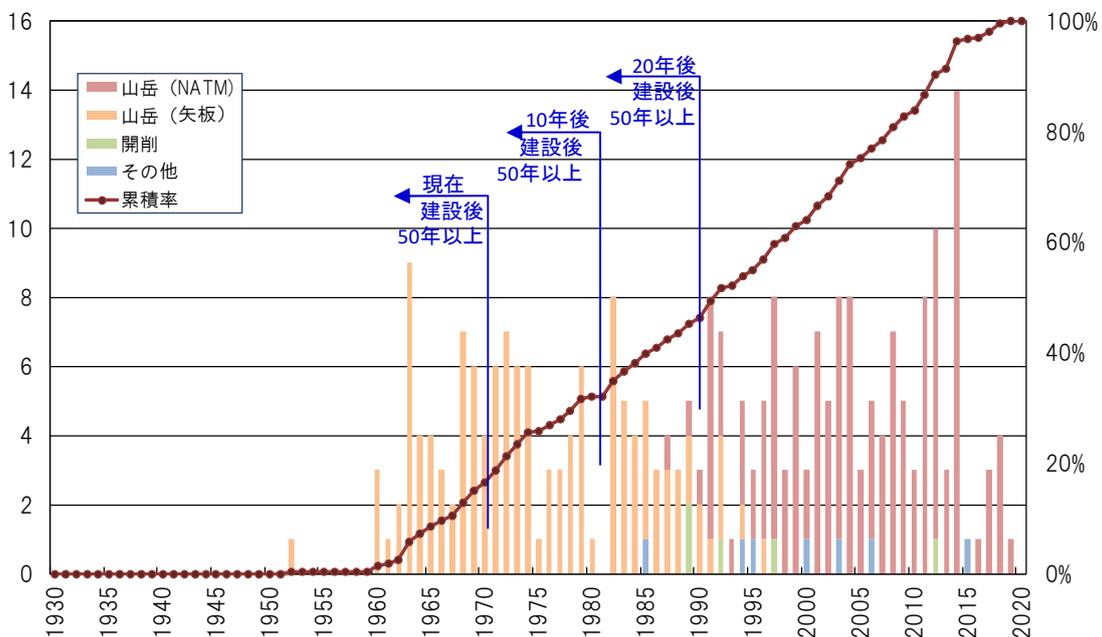
2041年
【20年後2836橋】



トンネル老朽化の現状【国管理】

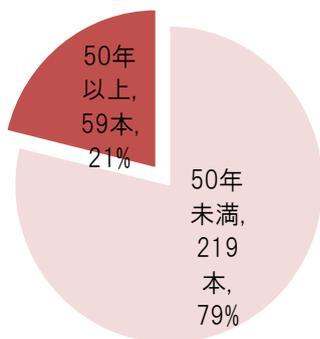
- 北海道開発局が管理するトンネルは、令和3年3月31日現在278本であり、全体の約2割が高度経済成長期(1955年～1973年)に建設されています。今後、これらトンネルの高齢化が一斉に進むことから、適切な時期での補修等の対策が必要となることが想定されます。
- 北海道開発局における建設後50年以上を経過したトンネル本数の占める割合は、現在の21%が20年後には52%と急激に増加します。

建設年度別のトンネル本数分布

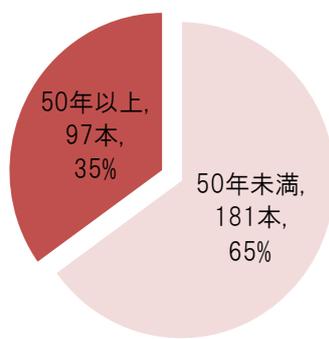


※その他は、NATM+開削工法等の複合トンネル

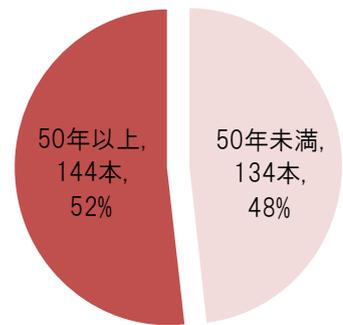
経過年数別トンネル数



2021年
【現在59本】



2031年
【10年後97本】



2041年
【20年後144本】

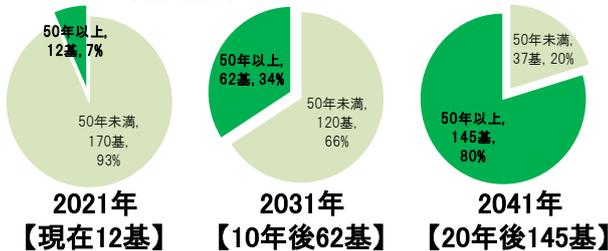
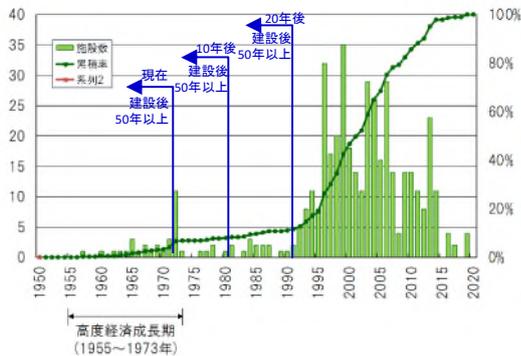


道路付属物老朽化の現状【国管理】

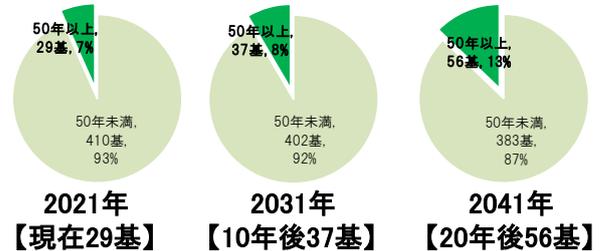
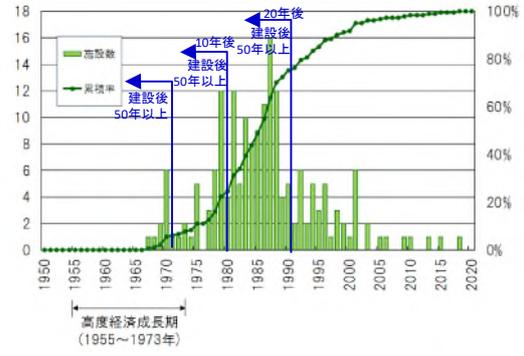
- 北海道開発局が管理する道路付属物は、令和3年3月31日現在シェッドが182基、大型カルバートが439基、横断歩道橋108橋、門型標識等は1,171基あります。
- 北海道開発局における建設後50年以上を経過した割合は、シェッドで、現在7%から20年後には80%、大型カルバートは、現在7%から20年後には13%、横断歩道橋は、現在51%から20年後には89%、門型標識等は、現在1%から20年後には9%と増加します。

建設年度別の道路付属物分布及び経過年数別施設数

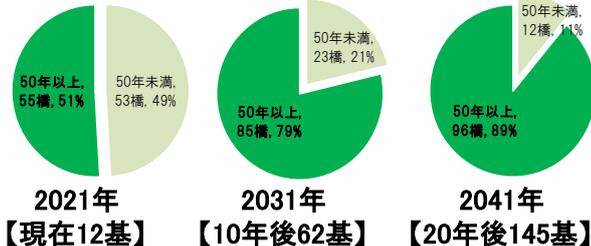
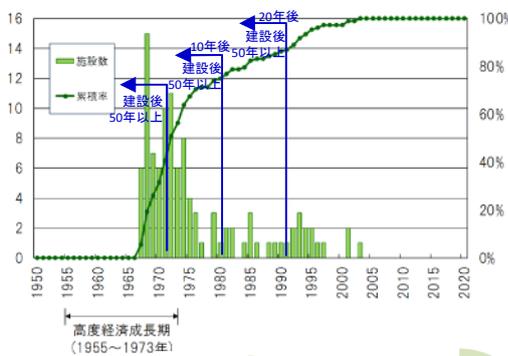
【シェッド】



【大型カルバート】



【横断歩道橋】



【門型標識等】

